

山梨労働局

令和2年度 年末年始無災害運動

実施期間

令和2年

12/1



令和3年

1/31

標語

『きっちり確認 ゆっくり休息 しっかり準備 年末年始無災害』

趣旨

年末年始無災害運動は、働く人たちが年末年始を無事故で過ごし、明るい新年を迎えることができるよう、事業場等の取組促進を図る目的で、山梨労働局・各労働基準監督署が主唱する運動です。

山梨県内の死亡労働災害は、昨年3件と過去最少となったものの、令和2年に入り3月までに3件立て続けに発生し、11月にも1件と昨年を上回る4件発生しています。休業4日以上死傷者数は、本年10月末日の時点で前年同期と比較して、全産業の死傷者数は約8%減少しているものの、業種によっては10%以上増加しているところも見受けられます。

また、コロナ禍の感染対策を講じながら迎える年末年始は、何かと慌ただしい中での大掃除や機械設備の保守点検・始動等の作業が多くなるほか、積雪や凍結による転倒等の危険も増すことから、各事業場においては、作業前安全点検の実施、作業手順や交通ルールの遵守、非常作業における安全確認の徹底、高所作業におけるフルハーネス型墜落制止用器具の整備を含めた保護具の点検の実施、更にはインフルエンザ時期と重なるため、新型コロナウイルス感染防止に向けた「新しい生活様式」の確実な実施等、労働者の健康確保に向けて、労使一体となり全員で取り組むことが一層重要となります。このような状況を踏まえ、本年度の年末年始無災害運動は、

『きっちり確認 ゆっくり休息 しっかり準備 年末年始無災害』を標語として展開することとします。

事業場の主な実施事項

- (1) 経営トップによる安全衛生方針の決意表明
- (2) KY（危険予知）活動を活用した非常作業における労働災害防止対策の徹底
- (3) 機械設備に係る一斉検査および作業前点検の実施
- (4) 転倒、墜落・転落、はさまれ・巻き込まれ災害防止や腰痛予防対策の徹底
- (5) フルハーネス型墜落制止用器具を含めた安全・労働衛生保護具の点検と整備
- (6) 新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ等の感染症対策の徹底
- (7) 高齢労働者を含めた身体機能の維持向上のための健康づくり、健康的な生活習慣（睡眠、食生活、運動等）に関する健康指導などの実施
- (8) 安全衛生パトロールの実施
- (9) 火気の点検、確認など火気管理の徹底
- (10) 交通労働災害防止対策の推進
- (11) 年末時期の大掃除等を契機とした5Sの徹底
- (12) 年始時期の作業再開時の安全確認の徹底
- (13) 建設業における社内および各現場でゼロ災害宣言運動の推進
- (14) 安全衛生旗の掲揚および年末年始無災害運動用ポスター、のぼり等の掲示
- (15) その他安全衛生意識高揚のための活動の実施



【主唱者】 山梨労働局、甲府・都留・鵜沢労働基準監督署

【推進団体】 (一社)山梨県労働基準協会連合会、甲府・都留・峡南・山梨労働基準協会
建設業労働災害防止協会山梨県支部、陸上貨物運送事業労働災害防止協会山梨県支部
林業・木材製造業労働災害防止協会山梨県支部、(公社)ボイラ・クレーン安全協会甲信事務所、
(一社)山梨県鉄構溶接協会、(公社)建設荷役車両安全技術協会山梨県支部、
(一社)日本労働安全衛生コンサルタント会山梨支部、(独)労働者健康安全機構山梨産業保健総合支援センター

【協力機関】 国土交通省甲府河川国道事務所、国土交通省富士川砂防事務所、国土交通省関東運輸局山梨運輸支局
林野庁関東森林管理局山梨森林管理事務所、山梨県

【後援団体】 連合山梨、山梨県経営者協会

〈詳しい実施要領については、山梨労働局ホームページ「年末年始無災害運動」を検索してご覧ください。〉



年末年始こそ安全衛生活動を強化しましょう！



トップ自ら安全衛生パトロール

経営トップ自らが、安全衛生パトロールを行い、職場状況を直接点検するとともに、従業員との対話の中から、多くの体験や情報を得て、職場内の安全衛生上の問題点の把握して改善し、安全・快適職場につなげましょう。



組織的な安全衛生活動への取組

年末年始に行う設備の点検等の作業は、事前に計画できるものが多く、各部門担当者や協力会社等の関係者による作業計画を作成し、その作業方法に基づき、リスクアセスメントを実施して、リスク低減措置、残留リスク対応の情報共有、周知徹底を組織的・効率的に展開させましょう。



非定常作業で発生しやすい災害



転倒災害



はさまれ・巻き込まれ災害



墜落災害



腰痛 (無理な姿勢)

年末年始には、設備の点検整備、清掃等のメンテナンスや設備の停止・立ち上げ等の非定常作業が多く、反復・継続して行われることが少ないことから、少しの気の緩みが災害発生につながります。各作業に応じたリスクアセスメント、KY活動等により労働災害の防止に努めましょう。

新型コロナウイルス 職場における「4つ」の対策ポイント

換気



室内ではこまめに換気をしましょう

密



席や更衣室で、人と適切な距離をとりましょう

共用



複数人での備品の共用はできる限り避けましょう

休



体調が悪い場合は、軽めの症状でも休みましょう・休ませましょう

感染防止の3つの基本である ①身体的距離の確保 ②マスクの着用 ③手洗いの徹底も忘れずに！

コロナ対策 手洗いの5つのタイミング

公共の場所から帰った時



咳やくしゃみ、鼻をかんだ時



ご飯を食べる時



前と後！

病気の人のケアをした時



外にあるものに触った時



年末年始の交通事故対策の徹底

年末年始は何かと慌ただしく、疲労の蓄積や集中力の欠如から、不安全な運転となりがちです。また、積雪や凍結等により交通事故が多発します。社内ミーティング等で安全運転について話し合い、交通労働災害防止に努めましょう。

